

NI-Youth の活動報告と今後の構想

NI-Youth 代表 杉山大貴

NI-Youth は代表の交代を終え、新体制に入っています。2012年4月の年度初めには3人のメンバーであったのが2013年2月末には12人に増えました。この間メンバー全員が継続して活動に参加しており、より積極的に活動するメンバーも増えています。そして活動領域が広がると色々な業務も増えるので、各業務の責任の所在を明らかにし、業務を効率化するため、組織のシステム化を現在進めています。総務、人事、広報、渉外、情報収集(仮)の各部を設け、その上に代表1人、副代表2人の幹部3人体制として、連絡システムの整備と無理のないタスクの振り分けをします。

このシステム化を2013年4月までに終え、新代表のもとに新たに設定された来年度NI-Youthの活動目標4カ条、

- 1.リクルート等でNI-Youthの規模拡大
 - 2.伝統の可視化
 - 3.企画提案の活発化
 - 4.他団体との繋がり強化
- を効率的かつ戦略的に行っていきます。

また来年度の活動として現在上がっているアイデアは以下の通りです。

- 1.ブリスベン(豪)と習志野の姉妹都市化を目指す！ その為に湿地協定を結ぶ谷津干潟自然観察センターに協力を働きかける。
- 2.東邦中・高の部活動と外国人を結びつける交流会を実現する。
- 3.市川市国際交流協会(IIA)が今年2013年8月に外国人受け入れ事業を行う際に、NI-Youthの開く国際交流会とコラボレーションし、ひいては千葉県全体を巻き込んだ企画を実施する。(現在IIAと交渉中)
- 4.習志野市全体を舞台とし、外国人と日本人と一緒に習志野を周るスタンプラリー大会を開催する。

以上です。